

# 平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 15 年 7 月 22 日

上場会社名 小林製薬株式会社

(コード番号: 4967 東・大1部)

(URL <http://www.kobayashi.co.jp/>)

問合せ先 代表者 代表取締役社長 小林 一雅

責任者 取締役 本社統括本部長 田中 正昭 (TEL:(06)6222 0210)

## 1 四半期業績の概況の作成等に係る事項

財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : (中間連結財務諸表作成基準)

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有

(内容)

当四半期における棚卸資産の棚卸高は、実地棚卸を行わず、前連結会計年度にかかわる実地棚卸高を基礎として、帳簿棚卸によって算定しています。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

公認会計士又は監査法人による関与の状況 : 無

## 2 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日)

### (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16 年 3 月期第 1 四半期	52,880	3,459	3,032	1,727
15 年 3 月期第 1 四半期				
(参考) 15 年 3 月期	210,922 3.1	15,852 16.3	12,951 7.1	6,605 0.2

	1 株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16 年 3 月期第 1 四半期	61 37	
15 年 3 月期第 1 四半期		
(参考) 15 年 3 月期	231 92	

(注) 売上高、営業利益などのパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しておりますが、前年同四半期決算を行っていないため記載を省略しております。

(注) 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載を省略しております。

### [ 経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第 1 四半期の我が国経済は、個人消費や雇用環境など低迷し、長期化するデフレ不況や世界経済に対する先行き不安などにより、依然として不透明な状況で推移いたしました。

そうした状況の中で、当社グループは経営ポリシーである「創造と革新」の精神をフルに発揮し、新市場を創造する製品やサービスの提供により顧客の潜在ニーズを開拓し、また同時に既存の参入市場に対しても新たな付加価値を付けた製品やサービスの提供に努めており、当第 1 四半期はほぼ計画通りに進捗しております。

家庭用品製造販売事業におきましては、今春に 7 品目の新製品を発売し、売上に貢献しました。カテゴリー別では、健康志向の高まりにより、引き続き栄養補助食品の売上が好調に推移しております。ただ、梅雨寒の影響から、医薬品のカユミ止め・シミとりなどの夏場商材の出荷が若干遅れております。

家庭用品卸事業におきましては、ドラッグストアが主要顧客であるため上記と同様に殺虫剤などの夏場商材の出荷が若干遅れております。

医療関連事業におきましては、国内では商品ラインの拡充、海外では顧客の囲い込みにより売上が好調に推移しております。

以上の結果、当第 1 四半期の売上高は 52,880 百万円、営業利益 3,459 百万円、経常利益 3,032 百万円、当期(四半期)純利益は 1,727 百万円となりました。

なお、当第 1 四半期は四半期決算導入の初年度であるため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。